

【解答例】

- 一
- 問一 A=ニ B=ロ C=イ D=イ E=ハ
- 問二 ロ
- 問三 目当ての品を入手できるか否かを運のみが支配する「ガチャ」に人生をたとえることは、本来は外部からの支援など様々な要素で動かさうる人生が出生時の家庭環境のみで決まるものとみなされていることを意味するから。(100字)
- 問四 社会制度の改善や社会的連帯の可能性を考えず、出生時の条件で人生の全てが決まることを自明視する人間観。(50字)
- 問五 イ=× ロ=○ ハ=× ニ=○
- 問六 a=依拠 b=媒介 c=諦

二-A

この問題は、著作権の関係により掲載できません。

【解説】

□ <出典> 戸谷洋志『親ガチャ』と自己責任論（『現代思想』（青土社）2024年4月号掲載）

<問題文> 「親ガチャ」という言葉について論じた文章。「親ガチャ」は、出生時の家庭環境という「運任せ」のもので人生のすべてが左右されてしまう、という人間観を示す言葉であり、家庭の外部からの支援や他者との連帯の可能性を考えずに、すべては「自己責任」だと思いこんでしまう時代精神を反映している、と述べています。

<設問> 問一 Aは前の「カプセルトイ」と直後からの「人間」が「同じ構造を持つ」という文脈。Bは前が「……は、普遍的な事実」後が「……は、普遍的な事実ではない」で〈逆接〉。Cの直後「すなわち」は前後イコールを示すので「C」『宿命論』＝「……偶然によって与えられる……必然的に決定されている」という対応。Dは直前「限定……でもなければ……短期的……ではない」をうけるので、「より広く、かつ深く浸透」のイ。「時代精神」はニ「原理」とは異なります。Eは「……頼ることがE」が「……頼ることは醜悪なこと」に対応。

問二 【Ⅱ】の前で「社会を頼らない」のが「人生の美しさ」だというサッチャーの主張が述べられるのを受けて、脱文「それでは、なぜ、社会を頼らないことが美徳とされるのであろうか」と、その〈理由〉を述べるつながり。

問三 傍線①『親ガチャ』という言葉が成立しているのは「どんな親のもとに生まれるのかは運任せ」で「家庭環境によって人生を左右される」のだという考え方が「カプセルトイ」の「ガチャ」と重なるから。傍線①「そうした家庭環境の外部からの可能性……」は、前段落「家庭の外部から必要な支援を受けることができるなら、家庭環境の影響は相対的に減じられる」はずなのに、それが「信じられてない」から〈家庭環境の影響がすべてだ〉つまり〈運しだいの「家庭環境」のみに「人生は左右される」〉と考えるようになってしまう、ということ。これと重なる「ガチャ」の特徴を傍線①の三段落前から加えてまとめます。

問四 （前段落までで述べられた）「若者」だけでなく、「より広範な年代に共有されている人間観」とは〈時代・社会全体を覆っている考え方だ〉ということ。これは、次段落「特定の世代に限定される……短期的（な）……ものではない……何らかの『時代精神』……に根差している」に対応します。その「時代精神」は端的に言えば「自己責任論」。次段落「社会的な連帯への希望を持つことができない」あるいは最後から2段落目の「国家から社会保障を求めない」（つまり、本来「社会制度の改善によって解決されるもの」（傍線①の次段落）なのに、そうしようと考えない）社会の風潮が、〈生まれた後からはどうにもできない〉という考え方を生んでいるというのです。

問五 ロはサッチャーの言葉の中の「私たちの人生の美しさは……どれだけ自分自身への責任を引き受ける覚悟があるのか、またどれだけ自らの努力によって不幸な人々を助ける覚悟があるかに、かかっている」に合致。ニは空欄Bの段落に合致します。イ「新語大賞に選ばれたから」つまりそれが理由で「普及した」のではありません（むしろ「流行」したから「新語大賞に選ばれた」という因果関係のはず）。ハ「新型コロナウイルスの感染拡大に乗じて」（その機会を利用して）でなく、「二〇一〇年代後半以降に……普及した」（1段落）とあります。

二-A

問題文は著作権の関係により掲載できません。

設問についても、その中で言及している問題文については同様の扱いとなります。したがって、どのような問題がいくつあったかについてのみお知らせいたします。実際の設問とは異なる順序となりますのでご承知おきください。

- 1) 問題文中のある個所についての説明に相当する箇所を抜き出す（記述：1問）
- 2) 問題文中のある個所について、正しい説明を選択する。（マーク：1問）
- 3) 空欄補充（マーク：4か所）、（記述（問題文中から抜き出し：1か所））
- 4) 語の意味について正しいものを選択する。（マーク：1題）
- 5) 問題文中の言説について、その理由を記述する。（記述：1題 90字以内）

■令和7(2025)年度学習院女子大学一般選抜・古文 解答例・解説〈A方式〉

【解答例】二-B (選択問題 古文)

問一 a = イ b = ハ c = ハ d = ロ

問二 ① = ロ ② = イ ⑥ = イ

問三 見たいと思われました。

問四 春

問五 女君の、絵に気を取られても、油断して顔を隠す扇を手放したりしない、嗜みのある性質。

問六 女君の美しさに及ぶことはできなかつただろう。

問七 ニ

【解説】

〈出典〉 『夜の寝覚』（中古の物語）

『夜の寝覚』は平安時代に成立した作者未詳（一説に菅原孝標女）の作り物語で、源氏の太政大臣の次女である寝覚の上の数奇な運命を描いています。『源氏物語』の影響が強く、『源氏物語』の垂流と言われることもあります。出題したのは、帝がかねてから気にかかっていた寝覚上の姿を垣間見て、そのあまりの美しさに心を奪われる場面です。垣間見は、男女の劇的な出会いを演出する舞台装置で、物語にしばしば採用されます。『源氏物語』の若紫巻の、光源氏が幼い紫の君を垣間見る有名な場面など、皆さんも高校の授業などで触れたことがあるのではないのでしょうか。やや読みにくい箇所は含まれますが、想像力を働かせながら読めば内容は十分に読み取れるはずです。

〈設問〉

問一（語句の意味）

- a 「こころそらなり」は何かにかげられて何も手に付かない様子を表す形容動詞で、「上の空だ・無我夢中だ」などと訳します。大皇の宮に垣間見をそそのかされて気もそぞろになった帝の精神状態を表しています。
- b 「こころもとなし」ははやる心をおさえかねる様子を表す形容詞で、「もどかしい・待ち遠しい・気がかりだ」などと訳します。ご灯火（＝「御殿油」）の光がかすかで部屋の中がよく見えず、じれったくなるほどだということです。
- c 「おろかなり」は「いい加減だ・疎遠だ・不十分だ」などと訳す形容動詞で、「言へばおろかなり・言ふもおろかなり」の形で、「（～と）表現したのでは不十分なほどだ・言葉では言い尽くせないほどだ」の意を表す熟語となります。女君の美しさが筆舌に尽くしがたいものであることを表現しています。
- d 「つきなし（付き無し）」は物事がうまく調和しない様子を表し、「ふさわしくない・似つかわしくない」などと訳す形容詞です。dは大皇の宮の発言に含まれていますが、大皇の宮は、女君の姿が帝によりはっきり見えるように、女君を灯火の側に呼び寄せようと考えています。それで、灯火のそばに置いた長恨歌の絵に興味を引こうと、自分も年甲斐もなくこの絵には心引かれてしまうと述べているのです。

問二（主体判定）

- ① 傍線部直前の「入り居させたまひにけるも」の主語が「上も」であることをまず押さえましょう。その上で、帝が女君の姿を垣間見ようと御帳の内に入り込みなされたのを、「いかでかは知らむ」（どうしてわかろうか、いや、わからないだろう）というつながりになっていることをつかんで下さい。なお、傍線部①には女君への敬意を表す尊敬語が用いられていませんが、本文中では女君に対してほとんど敬意が払われていません。これは、語り手が帝に寄り添っているからだと考えられます。
- ② 傍線部「いみじと御覧じしませたまふ」は、「すばらしいと心に焼き付くようにご覧になる」などと訳すことができます。内容から考えても動作の主体は女君の姿に心を奪われている帝でしょう。「御覧ず」が「見る」の最高敬語、「せたまふ」がいわゆる二重尊敬で、動作の主体に対する最高度の敬意を表していることにも注意して下さい。
- ⑥ 少し見えにくいですが、15 頁の 2 行目から、「(女君の) あたりにほひ満ちたるさま(を)、 「～」 と、(帝は) 御覧じ入るに、(女君の) 絵に心をば入れたれど、～さまなど(を)、 「～」 とぞ、(帝は) おぼし知らるる」というつながりになっています。やはり女君の姿に帝が心を奪われているさまが述べられていると考えられます。

問三（現代語訳）

「ゆかし」は「心引かれる・見たい・聞きたい・知りたい」などと訳す形容詞で、「直前の「かやうの物」が長恨歌の絵をさす」と説明がありますから、ここは「見たい」でいいでしょう。「おぼゆ」は、「(自然と) 思われる・思い浮かぶ・思い出される」などと訳す動詞です。むやみに「思う」と訳さないようにして下さい。「はべり」は丁寧語の補助動詞で、「～です・～ます・～ございます」などと訳します。「し」は過去の助動詞「き」の連体形で話者自身の体験を回想する場合に用いやすいことに注意しておきましょう。訳は「～(し) た」でかまいません。

問四（古文常識）

季節を考えると、陰暦の何月か、あるいはどういった季節の風物が話題となっているかなどに着目しますが、貴族女性の衣服の色目や模様なども、季節を推測する手がかりになることを覚えておいて下さい。季節にあった色目・模様の衣服を身につけこなすかが、貴族女性のお洒落の一つでした。14 頁の 11～14 行目が女君の着こなしの描写となっていますが、そこに「桜襲」「樺桜」「花桜」「柳」などの語が出てくることに注意して下さい。

問五 (内容説明)

内容説明の問題は、傍線部の現代語訳からはじめます。傍線部④を現代語訳すると、「絵に心を傾けているけれども、やはり扇を手放さない用心は、緩みそうにもない」などとなります。「心を入れる」「用心」「ゆるぶ」などの古語の訳に特に注意して下さい。その上で、「扇」が貴族女性が顔を隠すのによく用いる物であること、人にみだりに姿や顔をみせないようにするのが貴族女性の嗜みであることに注意して、現代語訳した成果をわかりやすく言い換えていきます。

問六 (現代語訳)

古語を一語一語現代語に置き換えていく逐語訳が基本だと考えて下さい。「え」は打消表現（この場合は「ざり」と呼応して不可能を表す副詞。「ざり」は打消の助動詞「ず」の連用形。「けむ」は過去推量の助動詞「けむ」の終止形で「～（し）ただらう」などと訳します。「これ」の指示内容については、このあたりが長恨歌の後（世界三大美人の一人にも数えられる楊貴妃のこと）と女君とを比較して、女君の美しさを強調している部分であることを注意して考えます。

問七 (文学史)

物語の文学史についての理解を問う問題です。作り物語の文学史は、『竹取物語』（「物語の出で来はじめの祖（おや）」と称される）などを起源とし、『うつほ物語』『落窪物語』などを経て次第に写実性を強め、『源氏物語』に至って完成を見る。その後、『狭衣物語』『浜松中納言物語』『夜の寝覚』など、『源氏物語』の大きな影響を受けた物語が数多く書かれるようになっていく、というのが一般的な捉え方です。この『伊勢物語』は十世紀前半に成立した作者不明の歌物語、ハの『とはずがたり』十三世紀後半に後深草院二条（久我雅忠女）によって表された日記です。文学史については時代、作者、ジャンルを覚えるだけでなく、年表などで作品相互の前後関係なども学習しておきましょう。

■令和7(2025)年度学習院女子大学一般選抜・日本史 解答例・解説<A方式>

【解答例】

大問Ⅰ

- 問1 黒曜石 問2 ① 問3 志賀島 問4 纏向(巻向)
問5 広開土王(好太王) 問6 沖ノ島 問7 聖明王 問8 ③
問9 ④ 問10 ③

大問Ⅱ

- 問1 大内義弘 問2 斯波 問3 九州探題 問4 如拙 問5 風姿花伝
問6 ④ 問7 ② 問8 ① 問9 ③ 問10 ②

大問Ⅲ

- 問1 小田原 問2 ④ 問3 家斉 問4 日本橋 問5 一橋
問6 ② 問7 ① 問8 ③ 問9 三菱 問10 大日本史

大問Ⅳ

- 問1 ③ 問2 原敬 問3 翼賛 問4 村八分 問5 ②
問6 ① 問7 ④ 問8 ③ 問9 小林多喜二 問10 新婦人協会

【解説】

2025年の本学の出題形式の特徴として指摘できるのは、先ず設問数が24年と同じ40問であったことです。2020年までは設問数が50問でしたが、21年から40問に減少し、試験時間の60分に変更はないので、ここ3年間、受験生の負担は軽減されたこととなります。次に40の設問のうち記述式が22問で、全体の5割強を占めること（23年度までは6割だったので、割合はこの二年間若干低下しています）、文を選択させる正誤判定問題が7問で、全体の2割弱であったこと（昨年度は6問だったので、割合は若干上昇しました）、単純な語句選択問題が6問で、2割弱であったこと（昨年度は9問だったので、割合は低下しました）、昨年度は出題された年代整序問題が出題されなかった、などです。設問数が同数で、正誤判定問題の割合が若干上昇し、年代整序問題が出題されなかったというのが、2024年と比べたときの本学の出題形式の特徴ということになります。よって、本学の志望者は、漢字を正確に書けるように練習を積むとともに、正誤判定問題に対応するために、意味も分からず覚えているだけの歴史用語の数を増やすのではなく、歴史用語の正確な意味を身に付ける学習が求められます。さらに、来年度以降は出題が予想される年代整序問題に対応するため、歴史用語を学習する際に必ず時期を意識した勉強をする必要があります（些末な年号を覚えるのではなく、前近代の出来事であれば、何世紀前半・後半、近代以降であれば、日清戦争、日露戦争、第一次世界大戦勃発などの重大な歴史的事件の前後という目安をつけるということです）。以下で、大問ごとに難易度の高い設問と正誤判定の設問を中心に解説を加えていきます。

大問Ⅰは、原始・古代の海外との交流をテーマとしたリード文を使いながら、原始～7世紀までの社会・外交・文化からの出題です。

問8の正解は③です。

①は「草創期・早期・前期・中期・後期・晩期の6期に区分されている」のは、弥生時代ではなく縄文時代です。弥生時代は、早期・前期・中期・後期の4つの時期に区分します。

②は「擦文文化」が誤りです。水田稲作が東北地方北部にまでおよんだ弥生時代に並行する時期の北海道では、続縄文文化が成立しました。擦文文化は続縄文文化を継承したもので、7世紀頃から13～14世紀までの600～700年間続いた文化で、この間につくられた土器の名前に由来します。

④の「石皿と磨石」は縄文時代に使用された磨製石器で、木の実などをすりつぶす道具です。弥生時代、脱穀に使われたのは木臼や堅杵です。農耕などに使用する道具は、図版などで現物を確認しながら、どの時代にいかなる用途のために使われたのかを学習することが重要です。

問9の正解は④です。

①は「土師器」と「須恵器」の説明が逆になっています。土師器は、古墳文化以降の時代に弥生土器と同じ製法で作られたもので、須恵器は、5世紀に朝鮮半島から伝来した新しい技法で作られたものです。

②は「囲炉裏」が誤りです。5世紀以降、朝鮮半島の影響を受けて、竪穴住居にはつくりつけのかまどがともなうようになります。山川出版社『詳説日本史探究』のp30に、この選択肢の文とほぼ同様の記述があります。

③は「大仙陵古墳出土の鉄剣」が誤りです。倭の五王の登場する5世紀、ヤマト政権では渡来人によって漢字の使用が始まりますが、その具体例とされているのが、倭王武に比定される「ワカタケル大王」の名の刻まれた熊本県江田船山古墳出土の鉄刀と、埼玉県稲荷山古墳出土の鉄剣です。大仙陵古墳は、仁徳天皇が埋葬されたと伝えられる、大阪平野に築造された前方後円墳です。

問10の正解は③です。

③は「薬師寺」が誤りです。薬師寺は、7世紀後半に天武天皇が皇后（のちの持統天皇）の病気回復を祈願するために創建されたとされる寺院で、その東塔は白鳳文化を代表する建築物です。

大問Ⅱは、足利義満の生涯をテーマとしたリード文を使いながら、室町時代前期の政治・文化・外交からの出題です。

問6は④が正解です。

④の「紫衣着用の許可権」を持っていたのは天皇です。これを厳格な審査の下に行うことを定めたのが、江戸幕府が1615年に制定した禁中並公家諸法度、1627年に幕府が後水尾天皇の紫衣勅許を無効としたことをきっかけに起こったのが、紫衣事件です。

①～③は、山川出版社『詳説日本史探究』のp114の注4に関連する記述があります。

問7は②が正解です。

①の室町幕府の「政所」は将軍家の家政・財政を担当する機関です。

③の侍所の長官をつとめるのは、赤松・一色・京極・山名の四氏で、四職と総称されました。

④の室町幕府の「評定衆」は所領に関する訴訟を処理する機関です。

問8は①が正解です。

①は鎌倉公方として鎌倉府を開いたのは「貞氏」ではなく、足利尊氏の子である基氏です。

②～④は、山川出版社『詳説日本史探究』のp115に関連する記述があります。

問9は③が正解です。

③は日明貿易における日本の輸出品が誤っています。銅・硫黄・刀剣が日本からの輸出品で、「高級（絹）織物や時期などの工芸品」は日本の輸入品です。

問10は②が正解です。

選択肢のなかには、京都五山の第四位の東福寺、第五位の万寿寺、鎌倉五山の第四位の浄智寺、第五位の浄妙寺を含むものがあって、一見すると厄介な設問ですが、決め手は京都五山第一位の天龍寺が選択肢のなかに入っているかどうかです。天龍寺は臨済宗の無窓疎石の提案で、後醍醐天皇の冥福を祈るために建立されますが、建立の費用を調達するために、室町幕府は天龍寺船を元に派遣しました。京都・鎌倉五山の第四位、第五位は学習したことがなくても、天龍寺は学習したはずですから、これらをふまえれば、決して正答できない設問ではありません。

大問Ⅲは、近世の庭園をテーマとしたリード文を使いながら、政治・社会・経済・文化からの出題です。

問1は小田原が正解です。

リード文だけから空欄アに正答するのは困難ですが、設問文に「豊臣秀吉の侵攻によって攻め滅ぼされた北条氏の居城があった」をヒントにすれば正答は可能です。関東の戦国大名である後北条氏が城下町としたのは、相模国の小田原です。

問4は日本橋が正解です。

関東大震災によって築地に移転する前の魚市場はどこにあったか、少し戸惑ってしまうかもしれませんが、江戸時代の魚市場がどこにあったかを思い起こせば正答できます。魚市場は江戸の日本橋と大坂の雑喉場でした。このほか、青物市場は江戸の神田と大坂の天満、米市場は大坂の堂島でした。

問6は②の五品江戸廻送令が正解です。

②の五品江戸廻送令は、幕末に列強との貿易開始にともなって起こった物価騰貴を鎮静化させるため、幕府が輸出されたくない五品（生糸・呉服・蠟・水油・雑穀）について、生産地から開港場のある横浜に直送するのではなく、必ず江戸の間屋を経由してから開港場に輸送することを命じたものです。しかし、イギリスの公使オールコックから通商条約に定められた自由貿易に反すると抗議され、実質的な効果を発揮することはできませんでした。

問8は③が正解です。

③は17世紀後半～18世紀前半の徳川綱吉の時代の出来事ではなく、18世紀後半の天明の飢饉のときの出来事です。天明の飢饉は、東北地方などに甚大な被害をおよぼした飢饉で、浅間山の大噴火や利根川の大洪水によって関東地方にも多くの損害を与え、寛政の改革を始める背景ともなりました。

問10は『大日本史』が正解です。

『大日本史』は、水戸藩の徳川光圀の命で17世紀後半に江戸の彰考館で編纂が始まり、1871年の廃藩置県によって水戸藩が消滅したのちも編纂が続き、20世紀初頭に完成を見た歴史書です。この編纂にかかわった

藤田幽谷・東湖父子、会沢安らは徳川斉昭の側近となり、(後期)水戸学を唱え、幕末の尊王攘夷運動に大きな影響を与えました。

大問IVは、近現代の選挙制度の変遷をテーマとしたリード文を使いながら、明治～昭和戦後期までの政治・文化・社会からの出題です。昭和戦後期からの出題は久方ぶりですが、ただし0.5問だけではありません。

問6は①の立憲同志会が正解です。

1915年の総選挙を実施した第二次大隈重信内閣は、前年に発覚したジーマンス事件の責任を取って総辞職した山本権兵衛内閣にかわって成立し、立憲同志会の党首であった加藤高明を外相に起用して、第一次世界大戦への参戦、中国に対する二十一か条の要求の提示などを行いました。立憲同志会は第一次護憲運動に対抗するために桂太郎が作った政党で、桂の死後は加藤高明が党首に就任し、第一次世界大戦中に憲政会となり、1924年の総選挙に勝利して加藤を首相とする護憲三派内閣を組織しました。この内閣の下で問8の解説にもある衆議院議員選挙法改正が行われ、男子普通選挙が実現しました。この、立憲同志会→憲政会→立憲民政党は、ともに大隈重信が1882年に結党した立憲改進黨の流れをくむ政党です。

問7は④の『明星』が正解です。

①の『文学界』は日清戦争の前後にロマン主義を掲げ、北村透谷の評論や樋口一葉、島崎藤村の作品を掲載した雑誌です。

②の『白樺』は日露戦争後に人道主義・理想主義を掲げた武者小路実篤らが創刊した雑誌で、文学のみならず、柳宗悦の民芸運動の活動の舞台ともなりました。

③の『ホトトギス』は、短歌・俳句の革新を行った正岡子規の友人が創刊した俳句雑誌であり、夏目漱石の『吾輩は猫である』なども掲載しました。

問8は③が正解です。

問1とともに、衆議院議員選挙法の改正により、選挙人資格がどう変化し、その結果、有権者の人口比がどう変化したのか、まではしっかりと学習してください。大日本帝国憲法発布とともに黒田清隆内閣の下で制定された時は、直接国税15円以上納める25歳以上の男子の選挙権が認められ、有権者の人口比が約1%、日清戦争後に第二次山県有朋内閣の下で改正された時は、直接国税の額が10円以上に引き下げられ、人口比が約2%、第一次世界大戦後に原敬内閣の下で改正されたときは、直接国税の額が3円以上に引き下げられ、人口比が約5%、憲政の常道期に加藤高明内閣の下で改正されたときは、直接国税の額の制限がなくなり、人口比が約20%、でした。そして、太平洋戦争後に幣原喜重郎内閣の下で改正されたときは、満20歳以上の男子のみならず女子にも選挙権が認められ、人口比は約50%となりました。

問10 正解は新婦人協会です。

新婦人協会は、雑誌『青鞥』を創刊した平塚らいてうが、市川房枝らとともに結成した女性団体であり、女性参政権獲得運動を進めるうえで障害となっていた治安警察法第5条(女性の政治集会参加禁止)の改正のための運動を進め、改正を実現しました。

【解答例】

I

- 問1 c
- 問2 a
- 問3 リベリア
- 問4 ガーナ (王国)
- 問5 トンブクトゥ
- 問6 スワヒリ (語)
- 問7 d
- 問8 b
- 問9 1960 (年)
- 問10 c

II

- 問1 c
- 問2 マーストリヒト
- 問3 b
- 問4 ユーロ
- 問5 エラスムス
- 問6 c
- 問7 a
- 問8 東ティモール (東ティモール民主共和国)
- 問9 a
- 問10 グローバリゼーション

III

- 問1 リヴァイアサン
- 問2 c
- 問3 ジハード
- 問4 a
- 問5 スパルタ
- 問6 c
- 問7 b
- 問8 a
- 問9 ヨーク (家)
- 問10 ガザ (地区)

IV

- 問1 d
- 問2 フン
- 問3 ノヴゴロド
- 問4 キエフ
- 問5 ウラディミル1世 (ウラジーミル1世も可)
- 問6 c
- 問7 a
- 問8 c
- 問9 c
- 問10 d

V

- 問1 b
- 問2 c
- 問3 d
- 問4 a
- 問5 NPT
- 問6 c
- 問7 CTBT
- 問8 レーガン
- 問9 c
- 問10 NGO

【解説】

I

- 問2 b. 誤文。北アフリカのリビアについての文です。c. 中央アジアのソグディアナ地方についての文です。d. 東南アジアのカンボジアについての文です。
- 問3 リベリア共和国はアメリカ合衆国で解放された黒人奴隷が建国しました。
- 問4 ガーナは第二次世界大戦後最初に独立した黒人共和国の国名にもなっています。
- 問10 a. 誤文。中国がGDPで日本を抜いたのは2010年です。b. 誤文。チュニジアで民主化運動が始まったのは2010年です。d. 誤文。同時多発テロ事件が発生したのは2001年です。

II

- 問6 a. AFLはアメリカ労働総同盟の略称です。b. APECはアジア太平洋経済協力会議の略称で、ASEAN6カ国と日本・韓国・アメリカ・カナダ・オーストラリア・ニュージーランドによって、1989年に結成されました。d. AUはアフリカ連合の略称で、OAU（アフリカ統一機構）から理念を引き継いで2002年に結成されました。
- 問7 b. スー=チーはビルマ（ミャンマー）の民主化運動の指導者です。c. ストルイピンはロシアの政治家で、日露戦争後にミール解体などの改革を進めました。d. スハルトはインドネシアの政治家で、九・三〇事件を機に実権を握り開発独裁を進めました。
- 問9 a. 誤文。三・一独立運動は1948年ではなく、1919年に発生しました。1948年には、朝鮮半島で大韓民国と朝鮮民主主義人民共和国が成立しています。

III

- 問2 c. 誤文。金ではなく、銀が正しいです。アメリカ大陸ではポトシ銀山（ボリビア）など多くの銀の鉱山が開発され、採掘された銀がヨーロッパに持ち込まれました。その結果、ヨーロッパで銀の価値が下がり物価が高騰するという価格革命が発生したのです。
- 問6 a. 北方戦争（1700～21）はロシアがデンマークやポーランドと同盟して、スウェーデンを破った戦いです。この戦争の結果、ロシアはスウェーデンに代わってバルト海の覇権を得ました。b. プレヴェザの海戦（1538）はスレイマン1世時代のオスマン帝国が、スペイン（カルロス1世）・ヴェネツィア・ローマ教皇の連合艦隊に勝利し、地中海の覇権をほぼ握ることになった戦いです。d. 諸国民戦争（1813～14）はロシア遠征に失敗したナポレオンを打倒した一連の戦いで、ライプツィヒの戦いで解放戦争の勝利が決定づきました。
- 問7 ①正文。②誤文。第4回十字軍がラテン帝国を樹立したのはイェルサレムではなく、コンスタンティノープルです。
- 問8 a. アルビジョワ十字軍は南フランスで勢力を持っていたカタリ派系の異端アルビジョワ派を討伐した戦いで、フランス王権が南フランスに及ぶ結果となりました。

IV

- 問 1 a. 誤文。『ラーマーヤナ』が現在の形にまとめられたのは、おおよそ 3～4 世紀の頃です。ヴァルダナ朝は 7 世紀前半に北インドを統一した王朝ですから、時代が異なります。b. 誤文。バンヤンの著作は『天路歷程』が知られており、『失樂園』はミルトンの著作です。ともにピューリタン文学の代表作です。c. 誤文。『神統記』の著者は女性抒情詩人のサッフオーではなく、男性叙事詩人のヘシオドスです。ヘシオドスは他にも『労働と日々』が有名です。
- 問 7 b. プガチョフはコサック出身で、エカチェリーナ 2 世時代に発生した農民反乱（1773～75）の指導者です。c. フレグ（フラグ）はチンギス=カンの孫、フビライ（クビライ）の弟で、西アジアに遠征を行ってアッバース朝を滅ぼし、イル=ハン国（フレグ=ウルス）を建国しました。d. ドレークはアルマダの海戦（1588）で活躍したイギリスの船乗りです。
- 問 8 c. 誤文。クリミア戦争で、ロシアのセヴァストーポリ要塞は陥落し、ロシアは敗北しました。
- 問 9 c. 誤文。ヤルタ会談ではソ連の対日参戦が決められました。当時、イギリスはすでに日本と交戦状態でした。
- 問 10 d. 誤文。1959 年、フルシチョフは訪米した直後に中国を訪問しましたが、西側との関係をめぐって中ソ間の路線の相違が浮き彫りになりました。

V

- 問 2 c. 誤文。アインシュタインが核兵器と核戦争の危険性を共に訴えたのは湯川秀樹ではなく、イギリスの哲学者ラッセルです。
- 問 9 c. 誤文。戦略兵器制限交渉（SALT）が調印されたのは 1972 年（SALT-I）と 1979 年（SALT-II）ですから、1991 年末のソ連邦解体で交渉が頓挫したわけではありません。ソ連邦が解体したときに課題となったのは戦略兵器削減条約で、ロシア以外のウクライナ・ベラルーシ・カザフスタンに存在する核兵器の取り扱いをめぐるものでした。米露の外交努力によりこれらの国々も核兵器放棄に同意して、核弾頭の削減が実現しました。

■令和 7 (2025) 年度学習院女子大学一般選抜・数学 解答例・解説<A方式>

【解答例】

1 (1) (3) (4) は答えのみでよい。(2) は途中経過も記すこと。

(1)

	中央値 (円)	平均値 (円)
まぐろ (x)	5289.0	5279.3
さんま (y)	427.5	447.3

(計算欄)

$$\text{中央値 } x: \frac{5158+5420}{2} = 5289 \qquad \text{平均値 } \bar{x} = \frac{1}{4} \sum_{k=1}^4 x_k = \frac{21117}{4} = 5279.25$$

$$y: \frac{411+444}{2} = 427.5 \qquad \bar{y} = \frac{1}{4} \sum_{k=1}^4 y_k = \frac{1789}{4} = 447.25$$

(2)

$$S_x = \sqrt{\frac{1}{4} \sum_{k=1}^4 (x_k - \bar{x})^2} = \frac{1}{2} \cdot 444.7 \qquad S_y = \sqrt{\frac{1}{4} \sum_{k=1}^4 (y_k - \bar{y})^2} = \frac{1}{2} \cdot 107.8$$

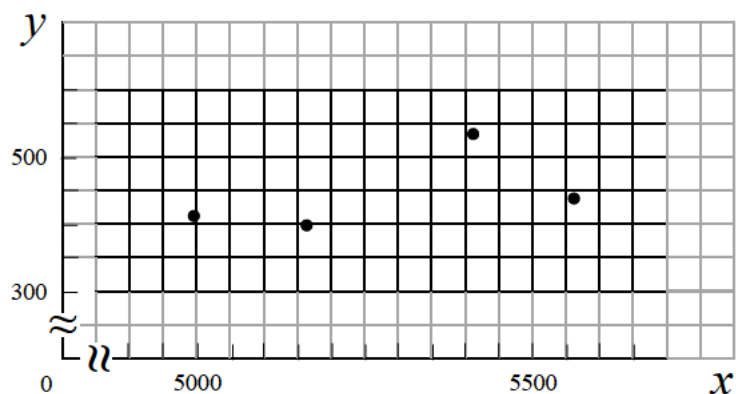
$$S_{xy} = \frac{1}{4} \sum_{k=1}^4 (x_k - \bar{x})(y_k - \bar{y}) = \frac{1}{4} \cdot 28269.8$$

より

$$r = \frac{S_{xy}}{S_x S_y} = \frac{28269.8}{444.7 \times 107.8} = \frac{28269.8}{47938.66} = 0.5897... \qquad \text{四捨五入して } r = 0.590 \quad \boxed{\text{答}}$$

(3) 正の相関関係がある。

(4)



2 途中経過も記すこと。

(1) $x > 0, y > 0$ に対して $F = \log_{10} x \cdot \log_{10} y$ とおくと、 $x = 10y^2$ より

$$F = \log_{10} 10y^2 \cdot \log_{10} y = (1 + 2 \log_{10} y) \log_{10} y$$

$\log_{10} y = t$ とおくと

$$F = (1 + 2t)t = 2t^2 + t = 2\left(t + \frac{1}{4}\right)^2 - \frac{1}{8}$$

は実数全体の値を取るの、 F が最小となるのは $t = -\frac{1}{4}$ のときであり、

$$(F \text{の最小値}) = -\frac{1}{8} \quad \boxed{\text{答}}$$

(2) 真数は正であるから $|x-2| > 0$ かつ $|x+2| > 0$, すなわち $x \neq \pm 2$ …①

与えられた方程式は

$$2 \log_2 |x-2| = \log_2 |x+2| + 3$$

$$\log_2 (x-2)^2 = \log_2 8|x+2|$$

$$(x-2)^2 = 8|x+2| \quad \dots \textcircled{2}$$

となり、これは①を満たす。

$x > -2$ のとき、②は

$$(x-2)^2 = 8(x+2)$$

$$x^2 - 12x - 12 = 0$$

$$x = 6 \pm 4\sqrt{3} \quad (4\sqrt{3} = \sqrt{48} < 7 \text{ より } x > -2 \text{ を満たす})$$

$x < -2$ のとき、②は

$$(x-2)^2 = -8(x+2)$$

$$x^2 + 4x + 20 = 0$$

判別式: $D/4 = 4 - 20 < 0$ より、実数解をもたない。

以上より

$$x = 6 \pm 4\sqrt{3} \quad \boxed{\text{答}}$$

3

途中経過も記すこと。

$$a(x+1)(x-1) - bx(x+1) + cx(x-1) = -7x+1 \quad \cdots \textcircled{1}$$

$$\textcircled{1} \text{で } x=0 \text{ とすると } \quad -a=1 \quad \text{よって} \quad a=-1$$

$$\textcircled{1} \text{で } x=1 \text{ とすると } \quad -2b=-6 \quad \text{よって} \quad b=3$$

$$\textcircled{1} \text{で } x=-1 \text{ とすると } \quad 2c=8 \quad \text{よって} \quad c=4$$

ここで、 $a=-1, b=3, c=4$ を $\textcircled{1}$ に用いると

$$\begin{aligned} (\textcircled{1} \text{の左辺}) &= -(x+1)(x-1) - 3x(x+1) + 4x(x-1) \\ &= -(x^2-1) - 3(x^2+x) + 4(x^2-x) \\ &= -7x+1 \end{aligned}$$

となり、これは $\textcircled{1}$ の右辺と一致する。

以上より

$$a=-1, b=3, c=4 \quad \boxed{\text{答}}$$

4 途中経過も記すこと。

(1) $\overline{CA} = (5-x, -2-y)$ 答

(2) \overline{CA} と \overline{CB} が直交する条件は

$$\overline{CA} \cdot \overline{CB} = 0 \quad \cdots \textcircled{1}$$

$\overline{CB} = (3-x, -6-y)$ より

$$\begin{aligned} \overline{CA} \cdot \overline{CB} &= (5-x)(3-x) + (-2-y)(-6-y) \\ &= x^2 + y^2 - 8x + 8y + 27 \end{aligned}$$

となるので、①は

$$x^2 + y^2 - 8x + 8y + 27 = 0 \quad \text{答}$$

(3) \overline{CA} と \overline{CB} が直交するとき、(2) より

$$x^2 + y^2 - 8x + 8y + 27 = 0$$

$$(x-4)^2 + (y+4)^2 = 5$$

であるから、点 C の軌跡は

中心(4, -4)、半径 $\sqrt{5}$ の円のうち、2点(5, -2), (3, -6)を除いた部分 答

【解説】

1

- (1) 表の数値を用いて中央値と平均値を求めます。数値が大きいのので、平均値については仮平均を使うとよいでしょう。たとえば「まぐろ(x)」は、5000 を仮平均としてそこから
の差である 420、555、-16、158 について平均をとり、それを 5000 に加えて平均値
 \bar{x} が求められます。
- (2) 相関係数は、本来は与えられたデータ（リード文にある表）から求めますが、数値の個
数が多い場合や本問のように数値が大きい場合には大変手間のかかる作業となります。
したがって、本問では、途中まで計算を行った結果が問題文に書かれていて、受験生は
それを利用して続きの計算を行うこととなります。ここでは $28269.8 \div (444.7 \times 107.8)$
という計算を行います。最終的に得たいのは小数点以下の4桁目を四捨五入した数値
であるので、途中の計算を4桁以上の精度で行うことが必要です。つまり、 $444.7 \times$
 107.8 という部分を 445×108 で代用するようなことはできません。
- (3) 相関係数 r について $-1 \leq r \leq 1$ が成り立ちます。 r が 1 に近いときは「正の相関関
係がある」といい、 -1 に近いときは「負の相関関係がある」といいます。
- (4) x と y の値の組 (x, y) を座標とする点を平面上にとった図を「散布図」といいます。
リード文にある表の4つの数値の組について、対応する点を図に黒丸で記入します。

2

- (1) $x = 10y^2$ が成り立つときに $\log_{10} x \cdot \log_{10} y$ を考える問題です。単純に「 $x = 10y^2$ を代
入する」と考えればよいでしょう。代入して $\log_{10} y = t$ とおくと t の2次関数とな
り、その最小値を求めます。なお、対数の真数は正であることから x と y は正です
が、 $t = \log_{10} y$ はすべての実数値をとることができます。答案には、それについても書
いておくようにします。
- (2) 方程式は、対数法則を用いると $\log_{10} |x - 2|^2 = \log_{10} (|x + 2| \cdot 2^3)$ と整理され、これは
$$|x - 2|^2 = |x + 2| \cdot 2^3 \quad \text{つまり} \quad |(x - 2)^2| = |8(x + 2)|$$
となり
ます。ところで、一般に $|A| = |B|$ は $A = \pm B$ と同値なので、上の式は
$$(x - 2)^2 = 8(x + 2) \quad \text{または} \quad (x - 2)^2 = -8(x + 2)$$
となり、
2次方程式の実数解を求める問題となります（ $x + 2$ の符号で分類しても同じ
結果となります）。なお、元の方程式において、対数の真数は正であることから、 $x -$
 $2 \neq 0$ と $x + 2 \neq 0$ にも注意します。

3

「 x についての恒等式」とは、 x にどのような数値を代入しても成り立つ等式のことであり、解法が2つあります。

[解法1]

等式 $a(x+1)(x-1) - bx(x+1) + cx(c-1) = -7x+1$ の x にいくつか数値を代入してみ、それが成り立つことから a 、 b 、 c を求めます。代入する数値は、計算がしやすいものを選ぶので、本問の場合はたとえば $x=0$ 、 1 、 -1 などです。ところで、「代入したいいくつかの数値で成り立つ」ことは、「どのような数値を代入しても成り立つ」こととは違うので、上のようにして得た a 、 b 、 c の値に対して元の等式の左辺と右辺が本当に一致するかを確かめることが必要です。

[解法2]

等式を整理すると $(a-b+c)x^2 + (-b-c)x + (-a) = -7x+1$ となり、この両辺の係数を比べて

$$a-b+c=0 \quad \text{かつ} \quad -b-c=-7 \quad \text{かつ} \quad -a=1$$

とします。これを解いて a 、 b 、 c を求めます。

4

(1) $P(p_1, p_2)$ 、 $Q(q_1, q_2)$ に対して、 $\overrightarrow{PQ} = (q_1 - p_1, q_2 - p_2)$ となります。

(2) $\vec{0}$ でない2つのベクトル $\vec{p} = (p_1, p_2)$ 、 $\vec{q} = (q_1, q_2)$ が直交する(垂直である)ための条件は、内積が0であること、すなわち $\vec{p} \cdot \vec{q} = 0$ です。これは成分を用いると

$$p_1q_1 + p_2q_2 = 0$$

と表されるので、 $\overrightarrow{CA} = (5-x, -2-y)$ 、 $\overrightarrow{CB} = (3-x, -6-y)$ が直交する条件は

$$(5-x)(3-x) + (-2-y)(-6-y) = 0$$

となります。

(3) 点Cの軌跡とは、条件を満たす点Cのすべてで作られる図形のことです。(2)は $\angle ACB = 90^\circ$ を条件としているので、点Cは「ABを直径とする円」上にあるとわかりますが、CはA、Bとは異なる点であるので(これはリード文に書いてあります)、Cの軌跡は

ABを直径とする円のうち、2点A、Bを除いた部分

となります。これが本問の答ですが、(2)の結果を整理すると方程式 $(x-4)^2 + (y+4)^2 = 5$ が得られることから

中心 $(4, -4)$ 、半径 $\sqrt{5}$ の円のうち、2点 $(5, -2)$ 、 $(3, -6)$ を除いた部分と答えることもできます。

■令和7(2025)年度学習院女子大学一般選抜・英語 解答例・解説<A方式>

【解答例】

[I] 1. C 2. A 3. D 4. B 5. B 6. A 7. C 8. D 9. C 10. B

[II] 1. B 2. C 3. D 4. D 5. C 6. A 7. B 8. A 9. C 10. C

[III] 1. D 2. B 3. A 4. C 5. A 6. A 7. B 8. A 9. D 10. B

[IV] 1. On [upon] 2. from 3. to 4. that 5. Was [remained]

6. over [up, on] 7. has 8. with 9. for 10. as

[V] My favorite Japanese festival is Obon. This is because I can reunite with my relatives and old friends, as many people return to their hometowns during this period. Another reason is that I like participating in seasonal events such as Bon dances and local summer festivals. It is great fun to stroll around in a *yukata*, the summer version of *kimono*, and to buy food like *takoyaki* from stalls. Obon brings back good memories of my childhood.

(77 語)

[III]

1. have a test で「テストを受ける」という表現です。
2. What kind of …?で「どんな種類の…」という意味の表現です。
3. belong to …で「…に所属している」という意味の表現です。
4. 空所直後でMiki が「練習したけどあまり自信がない」といっていることから、feel nervous「緊張している；不安になる」が適切です。
5. 直前のDavidの発言を受けてI appreciate your …「あなたの…に感謝している」と述べているのですから、空所にはsupport「支援；はげまし」を入れるのが適切です。
6. play the 〈楽器〉で「〈楽器〉を演奏する」の意味の表現で、これが現在完了進行形で用いられて〈have been -ing〉という形になっています。
7. love -ingだと「(習慣的に) ーすることが好きだ」という意味ですが、would love to -とすると「ーしたい」という意味になり、ここでは後者の用法です。listenは自動詞のためlisten to …とする必要があります。hear 0 原形で「0が一するのを聞く」という意味になります。
8. hold〈会合など〉で「…を催す」という意味になります。ここではその受動態が用いられています。
9. make sure to -で「必ずーするように手配する；気を付ける」という意味の表現になります。
10. 最後にMikiを励ますような発言が入ります。Good luckで「幸運を祈る」という意味の表現です。

[IV]

1. be based on [upon] …で「…に基づいている」という意味の表現です。
2. from A to Bで「AからBへ」という意味の表現です。
3. be similar to …で「…に似ている」という意味の表現です。
4. meanは「…を意味する」という意味の他動詞ですが、空所の後ろにはit is …と文が続いているので接続詞のthatを入れると、meanに対する目的語になる名詞節を導きます。
5. 空所の前後で「京都＝日本の首都」という関係ができていますので、S <be> C「SはCだ」もしくはS remain C「SはCのままだ」を入れると文意が通ります。Until the 19th century「19世紀まで」という表現があることから、過去時制にしてwasもしくはremainedが正解となります。
6. take over …で「…を引き継ぐ」という意味になります。もしくはtake up …「〈任務・地位〉に就く」やtake on …「…を引き受ける」でも正解となります。
7. 空所の前にsince …「…以来ずっと」という表現があり、空所のうしろにisという現在時制があることから、「過去から現在にかけてずっと」という意味の現在完了にして〈have p. p.〉とする必要があります。ここでは主語がthe cityと単数形ですから三人称単数現在形のhasが正解となります。
8. be filled with …で「…で満たされている；…で一杯だ」という意味の表現になります。
9. be famous for …で「…のことで有名だ」という意味の表現になります。
10. be known as …で「…として知られている」という意味の表現になります。

■令和7(2025)年度学習院女子大学一般選抜・英語ライティング 解答例<A方式>

【解答例】

I.

1. [While you are] young, study hard or you'll regret it later on. (9 words)
2. [Why hasn't he] replied to the email I sent yesterday? (7 words)
3. [She assumed] that he would accept the job offer, but he didn't. (10 words)
4. [Would you like me] to make some fresh coffee for you? (7 words)
5. [We don't want anything] to eat, since we had lunch before we left home. (10 words)

II

One advantage of self-driving cars is that they can prevent traffic accidents caused by human error. However, I would not like to use one. Driving is an enjoyable experience for me, and I do not want to lose that. Although self-driving cars may allow people to take control when necessary, people's driving skills will decline if they rely too much on automation, which could lead to more accidents in the long run. For example, if a self-driving car encounters heavy snow or a flooded road, it may not function properly, and the driver might have to take over. However, if the driver has too little experience, he or she may not react quickly enough. In emergencies, such as avoiding a sudden obstacle or handling brake failure, human judgment and experience are crucial. Without regular driving practice, people may not be able to respond effectively in such situations.

(147 words)

【解答例】

- 一
- 問一 社会化
- 問二 A=イ B=ハ C=ロ D=ニ E=ハ
- 問三 産業化に伴って高齢者扶養を国家や企業が担うことになり、子供の教育も老後への先行投資ではなくなり、家族が結束する理由が生活という実際的なものではなくなったから。(79字)
- 問四 イ
- 問五 金銭的コスト
- 問六 X=ロ Y=イ
- 問七 現代社会を生きる個々人は子どもがいるいないにかかわらず福祉制度によって支えられており、子育てはその福祉社会の維持に不可欠な将来の構成員を養成することであるから。
(80字)
- 問八 イ=○ ロ=× ハ=○ ニ=× ホ=×
- 問九 a=あしかせ(あしがせ) b=累進 c=賄
- 二一A
- 問一 従来、機械やITを使う際、目的設定と材料提供とプロセス設計は人間の役割だったが、そのうちのプロセス設計の役割をAIが担えるようになった。(68字)
- 問二 AIが人間の画像認識能力を上回る成果を挙げたこと。(25字)
- 問三 A=イ B=ニ C=ハ D=ロ
- 問四 トライアル・アンド・エラー(トライ・アンド・エラー)
- 問五 イ=× ロ=○ ハ=○ ニ=×
- 問六 a=膨大(厩大) b=称讃(称賛・賞讃・賞賛)

【解説】

□〈出典〉 中澤渉『日本の公教育』（2018年中公新書）

〈問題文〉 子どもをめぐる社会的対立を論じた文章。福祉制度が整った現代では〈将来親の面倒をみてもらうために子どもを育てる〉必要性が薄れ、子どもを持つことは個人の自由な選択となったため、子どものいない人や私立学校に通わせる人は税金を子育て政策に投入することに不満を抱くが、一方で福祉制度を支えるには社会に一定数の（将来働き手となる）子どもが必要であり、ここに子育てをめぐる議論の難しさがある、と述べています。

〈設問〉 問一 16 段落に「高齢者介護なども徐々に社会化され」という傍線①前後と重なる表現がありません。

問二 Aは同段落末「教育投資」などから。Bは直前「意欲」を起こさせるような刺激・誘因の意のハ「インセンティブ」。Cは後に続く「家族として望む……方針と……社会全体の価値観が異なることもある」（次段落）をはじめとする論旨から。ロ「齟齬」とは〈くいちがひ〉のこと。Dは、「納めている税額は多」い「高所得層」は「税金で運営されている」（前段落）「公立学校の運営費に」＝「貢献」しているということ。Eは、子どもを産み育てることがかつてのように「必要性」のためではなくなつたというのですから、「子育てにかかる費用」も個々のカップルにとって（いわば趣味や楽しみのように）ハ「消費」とみなされるようになった、という文脈。

問三 2～5段落の内容を論理的順序に沿って再構成します。「高齢者扶養」は（子どもではなく）「国家」や「企業」が担うようになった（3段落）ので、〈親が子を育て、親が老いたら子が支える〉といった関係（2段落）の「必要」「必然性」が「失われ」（傍線②直前）、（そうした実利的必要性に）「代わって」「愛情」が家族の「つながり」の軸だと考えられるようになった、という文脈です。

問四 〈馬に拍車を当てて早く進ませる〉ことから〈力を加えて物事の進行を速める〉意の慣用句になったものの。

問五 「費用」＝「コスト」。設問指定は〈六字以内〉でなく「六字」（ちょうど）です。

問六 Xは直前「普遍性」（＝すべてのものに共通すること）に沿うもの。Yは直前「個人を支える」「社会全体の制度」の存続のために「原資となる年金・保険料を収める現役世代が必要となる」（15段落）とあることから。

問七 「だから」に着目し前段落までの論旨をまとめます。「老後の面倒」を「社会的に支える」「福祉」（前段落）は「現役世代によって支えられる」のだから、「子育て」は「将来のセーフティ・ネットを支える社会的構成員を育て」ること（21段落）であって、「単なる個人的選択や楽しみ」とはいえない（傍線⑤）という論理です。

問八 イは18～23段落などに、ハは12・13段落などに合致。ロ「公的制度」が「不要になった」のではない(14・15段落など)。ニ「テクノロジーが進歩した」ことは述べられていますが、ニ「……から、学校教育のカリキュラムの内容が……」とはいわれていません。本文には「やむを得なかった人もあれば、自ら進んで決断した人もあろう」(14段落)とあって、ホ「子どもが欲しいのに出産を躊躇したカップル」だけだとは述べられていません。

二A <出典> 波頭亮『文学部の逆襲』(2021年ちくま新書)

<問題文> AIの発展が社会にもたらす影響について論じた文章。従来は人間が「お膳立て」しなければならなかった「プロセス設計」を担えるようになったことでAIが本格的に人間を代替できるようになり、人間の労働時間が減り自由度が増して社会に大きな変化をもたらされる可能性がある、と述べています。

<設問> 問一 「従来」(設問指定)は、傍線①前部「目的と材料とプロセス設計」を「人間が……お膳立て」しなければならないことが「完全自動化……のボトルネック(妨げ・障害)」となっていたが、その3つのうち「プロセス設計の役割をAI自身に担わせることが可能になった」(4段落)とあります。

問二 8段落に「この時をもって、AIが人間を代替できるレベルにまで達したと……」とあるのをおさえます。

問三 Aは「AIシステム」に「医者の……診断」をイ「模倣」させようとした、という文脈。Bは前段落「人間が設計することなく」などから。Cは「視覚情報」すなわち前段落「画像」の「判別」専門のAIだったということ。D直後「旅行や音楽……」は前の「心理的満足や社会的満足」といった「欲求やニーズ」に対応する動向。

問四 「試行錯誤」は〈試み(トライ)と失敗(エラー)を繰り返しながら次第に目的に近づいていく〉意。

問五 ロは5・6段落に、ハは11段落に合致。イ「目的の選定」は「……どのデータを活用するのかを定めること」ではなく『企業の成長予測を行う』ため(1段落)の方に当たります。ニ「多くのモノを家族と共有することで……豊かさを実感」とは述べられていません。

■令和7(2025)年度学習院女子大学一般選抜・古文 解答例・解説<B方式>

【解答例】二-B (選択問題 古文)

問一 A=ハ B=ロ C=ニ

問二 ニ

問三 天竺の人

問四 許す

問五 親の元へ戻らないでいるわけにもいかないので

問六 助けられた恩を返そうとした亀が、船が転覆して川に落ちた銭を拾って、助けた人が戻る前に人の姿になって親の元に届けたから。(五九字)

問七 イ=× ロ=○ ハ=×

問八 ハ

【解説】

<出典> 『宇治拾遺物語』（中世の説話）

『宇治拾遺物語』は鎌倉時代初期に成立した編者未詳の説話集で、出題したのは、巻十三の「亀を買ひて放つ事」の全文です。殺されようとしていた亀を憐れんだ人が、たまたま親から預かっていた大切な金銭を代価として亀を救ってやったが、亀のおかげで結局その金銭が戻ってきたという、「動物報恩譚」に属する話です。おとぎ話の浦島太郎の話に近く、出来事中心の文章であることも手伝って、かなり取り組みやすい文章といえてよいでしょう。

<設問>

問一（主体判定）

- A 「見やる」は「遠くを眺める・その方向を見る」という意味です。「川のはた（＝川のほとり）」から「舟のかた（＝舟の方）」を見たのは、「天竺の人」から「錢五十貫」を持たされた「子」しか考えられません。
- B 波線部B「死にぬ」の文中の主語は、「ここに亀売りつる人は」です。「ここに亀売りつる人」は、「舟に乗りたる人」と同一人物です。
- C 「やりける」は「送った」という意味で、その文中の主語は、「買ひて放しつる亀の」（「の」は主格の格助詞）です。

問二（語句の意味）

「あながちなり」は、自分を抑えられず、やむにやまれない様子を表す形容動詞で、「強引だ・無理やりだ・いちずだ・ひたむきだ」などと訳します。「あながちに＋打消」の形で、部分否定（「必ずしも～ない」などと訳す）となることがあることも知っておきましょう。直後の「手をする」は、切実な依頼や謝罪をするときのしぐさです。

問三（人物判定）

本文中で親子関係が認められるのは、1行目の「天竺の人」と「子」との間だけです。

「子」は財宝を買うための代金として錢五十貫を持たされました。それを「亀に替へ」てその亀を放したわけですから、結局は錢五十貫を無駄にしてしまったことになります。

「親」＝「天竺の人」は当然ひどく腹を立てることが予想されます。

問四 (文脈判定)

二重傍線部の「放つ」(「放ち」はその連用形)は「放す・逃がす」という意味です。「亀を逃がす」という意味になっていると推測される箇所を文中から探してみましょう。動詞「許す」は形容詞「ゆるし(緩し)」と同根で、「緩める」という意味から、「放す・逃がす」という意味が派生しました。

問五 (現代語訳)

「親の元へ行か」の部分には大事なポイントは含まれておらず、特に置き換えの必要はありません。「で」は未然形に接続して打消を含んだ単純な接続を表す接続助詞で、「～(し)ないで」などと訳します。「べき」は助動詞「べし」の連体形で、打消文中に用いられた場合は可能(「～(する)ことができそうもない」などと訳す)で訳すとうまくいくことが多いようです。「ね」は未然形に接続しているので、打消の助動詞「ず」の已然形。完了の助動詞「ぬ」などと間違えないように注意して下さい。「ば」は已然形に接続して順接の確定条件を表す接続助詞です。この場合は「～ので・～から」と訳せばよいでしょう。

問六 (理由説明)

理由説明の問題は、本文中に理由を具体的に述べた箇所があるのがふつうなので、その箇所を探します。「この銭が親のところにある理由」、「それが濡れている理由」が述べられていると考えられるのは最後の段落(「はや、～やりけるなり」の部分)です。この部分を訳して整えれば答えになります。

問七 (内容合致)

選択肢の内容を、対応する本文中の箇所と照合しながら正誤を判定していきます。イは本文の第1段落の内容と対応しています。亀を持っていたお金で助けたのは「天竺の人」ではなく、その子供でした。ロは9～10行目と対応しています。本文と矛盾する内容は含まれていません。ハについては、子供から「銭五十貫が宝を買うために使われなかった」ことを聞いた「親」＝「天竺の人」の反応は、本文の第2段落に述べられていますが、どこにも「大変腹を立てた」ことは述べられていません。

問八 (文学史)

『宇治拾遺物語』が鎌倉時代初期に成立したことは〈出典〉に述べたとおり。イ『今昔物語集』は平安時代後期に成立した編者不明の説話集、ロ『大和物語』は平安時代の十世紀半ばごろに成立した作者未詳の歌物語、ハ『沙石集』は鎌倉時代後期に無住道暁によって編まれた仏教説話集、ニ『日本霊異記』は平安時代初期に景戒によって編まれた仏教説話集です。

■令和 7 (2025) 年度学習院女子大学一般選抜・英語 解答例・解説<B方式>

【解答例】

[I] 1. C 2. C 3. A 4. D 5. D 6. D 7. B 8. C 9. A 10. B

[II] 1. B 2. A 3. D 4. C 5. A 6. B 7. D 8. C 9. B 10. A

[III] 1. B 2. C 3. A 4. D 5. B 6. A 7. B 8. C 9. B 10. C

[IV] 1. for 2. in 3. not 4. with 5. be 6. of 7. that 8. Are

9. at [during] 10. or

[V] Regular exercise helps our bodies stay strong and healthy. When we exercise, our muscles work hard and become stronger. This makes it easier to do daily tasks and lowers the chance of getting sick. Exercise also gives us a chance to join sports clubs and meet new people. Playing in teams or groups allows us to make friends and have fun. During exercise, we also practice teamwork and improve our concentration.

(71 語)

【解説】

[I]

1. encourage O to -で「Oに一するよう奨励する」の意味で、Cが最も近い意味になります。
2. turn A into Bで「AをBに変える」という意味の表現です。
3. richは「裕福な」という意味の他に「(多様性にあふれて)豊かな;多彩な」という意味もあり、ここでは後者の意味で用いられており、Aが最も近い意味になります。
4. 第1段落最終文(A visit to …)の内容にDが一致します。ここではあくまで「日本でイギリス料理の評判がよくないのにイギリスで日本人が外食をするから驚きだ」といっているのであり、イギリス料理が美味しくないことに驚いているわけではないので、Aは誤りです。
5. 第2段落第3文(Unlike many museums …)の内容にDが一致します。第2段落第2文(Now more than …)で「270年以上」とあり、Bが紛らわしいのですが、Bのnearly 270 yearsは「270年近く」という意味で270年には至っていないことを示しており、誤りです。
6. 第2段落第4文(Visitors can see …)の内容にDが一致します。
7. 第3段落第2文(Although not as …)・第3文(Warley Museum, situated …)の内容にBが一致します。
8. 第3段落第5文(The reason for …)の内容にCが一致します。
9. 第4段落第4文(Although looking at …)の内容にAが一致します。
10. 最終段落第4文(However, there are …)の内容にBが一致します。Aが紛らわしいですが、最終段落第3文(One reason is …)では「イギリスの長い歴史」と述べられているのに対し、Aのbriefは「短い」という意味なので誤りです。

[II]

1. speak upで「はっきり意見を述べる」という意味の表現です。
2. organizeは「(行事・活動など)を準備する;催す」という意味の他動詞です。
3. at one's convenienceで「…の都合の良いときに」という意味の表現で、at one's earliest convenienceとすると「…の都合がつき次第;なるべく早く」という意味になります。
4. stop by …で「…に立ち寄る」という意味の表現です。
5. expect that S will Vで「SがVすることを予想する」という意味の表現ですが、ここでは過去時制で用いられているためwillが時制の一致を受けて過去形のwouldで用いられています。
6. leave A with Bで「BにAを預ける;託す」という意味の表現です。
7. exactlyは疑問詞の前後に置くと「正確には;いったい」という意味でより詳しい情報を求めるための表現として用いられます。
8. submitは「…を提出する」という意味の表現で、ここでは受動態で用いられています。
9. attractは「…を引きつける;呼び寄せる」という意味の表現です。
10. keep -ingで「し続ける」という意味の表現です。

[III]

1. leave for …で「…へ向かって出発する」の意味です。A やC は自動詞なので誤りです。D の arrive at …は「…に到着する」の意味で文意が通りません。
2. be here to -で「一するためにここにいる」の意味で、ここではbe here to help youで「あなたを助けるためにここにいる」という意味で用いられています。
3. take care of …はここでは「…を処理する」の意味で用いられています。
4. make sure to -で「必ず一するように手配する；気を付ける」という意味の表現になります。
5. sign up with …で「…の購入契約をする；…にユーザー登録をする」という意味の表現になります。
6. 文頭の Otherwise は「もしそうでなければ」という意味で、直前文の内容を受けて「もし住宅に Wi-Fi の設備がなければ」という意味になりますから、「自分で手配する必要がある」という文意になるはずですが。by yourself「自分で」を入れると意味が通ります。
7. as you might know で「ご存知かもしれませんが」という意味の定型表現です。know が他動詞なのに目的語がないのは、定型句のため目的語が省略されていると考えるとよいでしょう。
8. apply for …で「…に応募する」という意味の表現です。
9. come in handy で「役立つ」という意味の表現です。
10. be all set で「準備が完了している」という意味の表現です。

[IV]

1. prepare for …で「…の準備をする」という意味の表現です。
2. keep in mind (that) …で「…ということを覚えておく」という意味の表現です。
3. 直前で「人員不足のために」といっていることから、「ホテルには十分な従業員がいないかもしれない」と否定文にする必要があります。
4. along with …で「…に加えて；…と一緒に」という意味の表現です。
5. can の直後ですから動詞の原形が必要ですが、空所の後ろが expected と過去分詞があるので、原形の be を入れて受動態にすればよいと判断します。
6. a lot of …で「多くの…」という意味の表現です。
7. suggest that S (should) 原形で「S に一してはどうかと提案する」という意味の表現です。
8. require O to -で「O に一することを求める」という意味の表現ですが本問では require の後ろに目的語になる名詞がありません。ここでは元の目的語である travelers が受動態になって主語の位置に来ていると判断しましょう。主語が複数形の travelers ですから空所には are を入れます。
9. at all times で「つねに；いつも」という意味の表現です。at の代わりに during でも正解です。
10. either A or B で「A または B いずれか一方」という意味の表現です。

【解答例】

I.

1. [You should let] your children do as they like. (6 words)
2. [When does she] plan to start studying seriously for the entrance exams? (9 words)
3. [Is it possible for] you to help me with my homework? (7 words)
4. [I believe what he] said in the meeting was true. (6 words)
5. [Each time she visits] this city, she eats at her favorite restaurant. (8 words)

II

If I study abroad in the future, I would like to acquire adaptability and problem-solving skills. Of course, studying abroad would also be a chance to improve my language skills, but I can mostly learn a foreign language while living in my own country. However, living in another culture would require me to deal with many situations that are completely different from anything I could experience in Japan. For example, every day I would face situations where the customs and manners are unfamiliar to me. If I could not quickly adapt and start to behave correctly, I might unintentionally offend people. Moreover, I would need strong problem-solving skills to deal with unexpected problems such as cultural misunderstandings. Those kinds of challenges would help me grow and acquire new abilities that I could not acquire at home.

(136 words)

【解答例】

- 一
- 問一 A=ニ B=イ C=ロ
- 問二 水につかるのが怖い状態から身体を水にまかせるコツをつかんだ状態への移行のように、運動の手順が自己の身体に定着すること。(59 字)
- 問三 それまでできなかった何らかの身体運動ができるようになる運動学習は、「生きられた身体」としての自己がその行為の主体となる過程そのものだから。(69 字)
- 問四 (そこから) あらゆる知覚が生じるパースペクティヴの原点 (21 字 (冒頭「そこから」がなくても可)・25 字)
- 問五 経験の構成要素のうち、その時々意識の対象として焦点化されているもの。(35 字)
- 問六 イ=× ロ=○ ハ=○ ニ=×
- 問七 a = 膝 b = 裁縫 c = 明瞭 (明亮) ※
※大問一・問七・波線 c について、大問二中で示した選択肢の中に解答となる漢字が記載されていたため、当該設問について、受験生全員の解答を正解としました。
- 二
- 問一 2つの対象の様々な相違のうち、どの点が種を分ける要素でどの点が同種内の個体差なのかは別のものと比べないとわからないから。(60 字)
- 問二 ①=ハ ②=ハ ③=ニ ④=ロ
- 問三 ⊖=経験 (記憶・体験・情報 など) ⊕=新種
- 問四 I = ハ II = ロ III = イ IV = ハ
- 問五 ロ
- 問六 a = 既知 b = あんど c = 掲載

【解説】

□〈出典〉 田中彰吾『自己と他者 身体のパースペクティヴから』（2022年東京大学出版会）

〈問題文〉 身体のある方について述べた文章。単なる「物体」ではない「生きられた身体」の諸相を、運動学習、知覚や経験の主体としての身体、身体と対象・環境との〈図と地の反転〉などのさまざまな観点から述べています。

〈設問〉 問一 Aは前の「楽器の演奏……すべて運動学習として位置づけられる」が後の「誰もが何らかの運動学習を日常生活のさまざまな場面で経験していると言える」ことの原因になっています。Bは前の「身体は経験の背景に退いて」や5段落末「意識にのぼらない」から。C直前「指先の……」は、前の「私が私の身体を知覚する……対象として行為する場合」の例。ハ「経験と知覚の狭間」ではなく〈知覚しながら行為している〉ところです。

問二 直前「身体運動の手順が……定着」とは「コツをつか」んだ状態だとおさえ、設問の指定に従い1・2段落の例を〈どんな状態から→どんな「コツをつか」んだ状態になったのか〉という形でまとめます。

問三 傍線②「生きられた身体」は次段落に「一人称の『私』の観点から経験されている身体」「何よりもまず、行為と知覚の主体」と説明されています。傍線②「運動学習」によって「誕生時……には不可能」だった「動作」が「運動学習によって……可能になる」ことはまさに、自分（私）がその「行為……の主体」となることです。

問四 傍線③の「それ」は前の「私の身体」。つまり傍線③は〈私の身体によって対象が存在する、そういう性質を持つものが「私の身体」だ〉という意であり、これは前段落「身体は……行為や知覚の対象を浮かび上がらせる当のもの」（例えば〈目（私の身体）があるから対象が見える〉といったこと）に当たります。これに近い内容で指定字数にふさわしい表現は7段落「そこからあらゆる知覚が生じるパースペクティヴの原点」です。

問五 直後から、「図」は「前景化して現れてくる」もの、「地」はそのとき「背景化し」ているもの。同段落初めの例でいえば「自己の身体が……前景化」とは〈頭や歯が痛いときは痛み感覚に気を取られている〉ということ。つまり、その時々で〈中心的に意識している〉ものが「前景化して」いるもの＝「図」だということです。

問六 ロは4段落に、ハは6段落「対象になることがなく」8段落「対象として完全な姿で現れることはない」に合致。イ「運動学習の本質」は「コツをつかむ」ことであって、「恐怖をのりこえる」ことが必須条件というわけではありません（例えば「楽器の演奏……」（3段落）などには必要ないでしょう）。ニ「対象……に集中するあまりに……眼球の動きが気になる」は〈一方が図になるときは他方は地になる〉というニ「反転」とは違います。

□ 〔出典〕 岡西政典『生物を分けると世界が分かる』（2022年講談社）

〔問題文〕 生物の分類について論じた文章。2つのものを分類するためには比較のための手がかりとなる第3のものが必要であり、ある点での違いに着目して複数のものを2つに「分ける」ことは、同時に、その点では違わないものを同じものとして「まとめる」ことでもある、と述べています。

〔設問〕 問一 二重傍線の「2つだけしかない状況」とは、6段落「生まれて初めてアメフトとバスケのボールを見た」（それを見分けるための手がかりになる「もう一つ」（10段落）がまだない）状態。7段落には「形は違う」「重さも弾力も違う」が「色は茶色で似ている」「どちらも（楕）円形」とあって、それらさまざまな特徴のどれが「2つ」を「はっきりと分ける」決め手なのかがわからない、という状態であることがつかめます。

問二 ③のニ「歴然」は〈はっきりしている・明白だ〉の意。④のロ「泰斗」は〈その道で最も権威ある人〉の意。

問三 空欄○は直前「そのような」が指す「何度も……目にしている」のような過去の「経験」「記憶」。同趣旨の言葉は広く認められるでしょう。空欄○は波線部 a の段落の「C」の「腕針の数がもし2本以上であれば……Xは既知のいかなるヒメモヅル属の種とも異なる〔新種〕であると判断できる」をうけた箇所です。

問四 I・IIは傍線③の段落、IIIは終わりから二つめの段落、IVは終わりから三つめの段落を、それぞれ参照。

問五 最後の二段落に、「CとA」は「同種」、「AとX」は「はっきりと区別」とあります。ハ「属」は本文に「種の1つ上の分類のカテゴリー」とあり、Xは「ヒメモヅル属」の中の「腕針を1本しか持たない種」とありますので、ハ「Xは別の属」は誤りです。